

# サイエンスアゴラ： 日米フォーラム

女性参画拡大を科学する ～科学技術における多様な人材の参加～

主催： 米国国立科学財団（NSF）、科学技術振興機構（JST）

女性の活躍が期待されておりますが、科学技術の分野では女性の活用が未だ乏しいのが現状です。このフォーラムではどのようにして科学技術分野で女性の参画を拡大できるかについて、エビデンスに基づいた洞察を行います。米国、日本から各々2名のスピーカーが講演し、その後、パネルディスカッションにて今後どんなチャレンジや提案が考えられるか議論します。

【日時】 平成 27 年 11 月 13 日（金） 10:30～13:00

【会場】 日本科学未来館 7 階ホール

- 同時通訳サービス有
- 参加無料

事前登録：

<http://goo.gl/forms/ZWkKN7r9Ej>



## 【プログラム】

10:30 - 10:35 開会挨拶（ケリーナ・クレグヘンダーソン NSF 社会科学局 副局長）

10:35 - 11:55 招待講演

10:35-10:55 シェリル・カイザー ワシントン大学心理学准教授

10:55-11:15 シャッド・フォーブズ デラウェア大学社会心理学助教

11:15-11:35 渡辺 美代子 JST 副理事

11:35-11:55 青木 玲子 九州大学 理事・副学長（国際、知的財産、男女共同参画担当）

12:00 - 12:55 パネルディスカッション

パネル・ファシリテーター： 大野 由夏 北海道大学経済学部教授

パネル・メンバー：

- シェリル・カイザー ワシントン大学心理学准教授

- シャッド・フォーブズ デラウェア大学社会心理学助教

- 矢尾 育子 浜松医科大学 メディカルフォトニクス研究センター准教授

- 高橋 修一郎 株式会社リバネス 代表取締役社長 COO

12:55 - 13:00 閉会挨拶（甲田 彰 JST 理事）